



平成21年8月期 第2四半期決算短信

平成21年4月14日

上場会社名 グローウェルホールディングス株式会社 上場取引所 東証第二部
 コード番号 3141 URL <http://www.growell.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田隆右
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ財務経理本部長 (氏名) 佐藤範正 TEL (048)662-7711
 四半期報告書提出予定日 平成21年4月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第2四半期の連結業績 (平成20年9月1日～平成21年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第2四半期	88,691	—	2,757	—	2,990	—	1,055	—
20年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年8月期第2四半期	75	14	—	—
20年8月期第2四半期	—	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年8月期第2四半期	83,876		26,127		29.7		1,770 98	
20年8月期	—		—		—		—	

(参考) 自己資本 21年8月期第2四半期 24,882百万円 20年8月期 一百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	35 00	35 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 有

3. 平成21年8月期の連結業績予想 (平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	193,000	—	5,450	—	5,610	—	2,300	—	163	69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
[新規 1社(社名 寺島薬局株式会社)
[(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|----|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | | | | |
| | 21年8月期第2四半期 | 14,065,198株 | 20年8月期 | 一株 |
| ② 期末自己株式数 | | | | |
| | 21年8月期第2四半期 | 15,068株 | 20年8月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | | | | |
| | 21年8月期第2四半期 | 14,050,374株 | 20年8月期第2四半期 | 一株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

当社は、平成20年9月1日にウエルシア関東株式会社と株式会社高田薬局が経営統合し、株式移転により共同持株会社として設立されたため、当連結会計年度が第1期となり前事業年度及び前年同四半期実績はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、サブプライム問題に端を発した世界的な金融不安により、企業業績の悪化、雇用情勢の悪化など、景気が一段と後退局面の状況となりました。

ドラッグストア業界におきましては、消費の低迷、出店競争や価格競争、さらには改正薬事法の施行に伴う異業種の参入、M&Aや資本・業務提携等の業界再編が加わり、独自性・差別化戦略を問われる状況となっております。

このような状況下におきまして、ウエルシア関東株式会社（以下、「ウエルシア関東」という）と株式会社高田薬局は、平成20年9月1日に共同株式移転方式によりグローウェルホールディングス株式会社を設立し、さらにウエルシア関東は、平成20年11月に寺島薬局株式会社（以下、「寺島薬局」という）を公開買付けによりグループの傘下企業としております。

グループ会社のノウハウや人材資源を適宜共有することで、シナジー効果を発揮して、お客様に支持される独自性のある店舗作りを目指し、将来のドラッグストア業界において存在感のある企業を目指します。

当該四半期末の店舗数は、542店舗（株式会社ドラッグママダからの営業譲受による取得：10店舗、新規出店：26店舗、閉店：8店舗）となりました。

この結果、第2四半期累計の業績は、売上高は88,691百万円、営業利益2,757百万円、経常利益2,990百万円となり順調に推移いたしました。四半期純利益は平成20年11月に子会社化した寺島薬局におきまして、減損損失を計上した事等により、1,055百万円となりました。

出店・閉店の状況

(単位：店)

	期首店舗数 (平成20年9月1日)	出店数	閉店数	第2四半期末店舗数 (平成21年2月28日)
ウエルシア関東及び子会社 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	312 (236) (205)	22	7	327 (260) (225)
高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	100 (25) (8)	4	1	103 (38) (17)
寺島薬局及び子会社 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)		10	—	112 (19) (23)
合計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	412 (261) (213)	36	8	542 (317) (265)

また、品目別売上高は、下記の通りとなりました。

区 分	金額(百万円)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	24,912
調剤	6,397
化粧品	16,450
家庭用雑貨	14,443
食品	20,565
その他	5,921
合計	88,691

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期末における総資産は、83,876百万円となりました。うち、流動資産は37,678百万円、固定資産は46,198百万円であります。

流動資産の主な内容は、現金及び預金8,150百万円、売掛金2,923百万円、商品22,537百万円であります。

固定資産の主な内容は、有形固定資産20,529百万円、無形固定資産11,545百万円、投資その他の資産14,123百万円であります。

(負債)

当第2四半期末における負債合計は、57,748百万円となりました。うち流動負債は40,958百万円、固定負債は16,790百万円であります。

流動負債の主な内容は、買掛金24,919百万円、固定負債の主な内容は、長期借入金12,561百万円であります。

(純資産)

当第2四半期末における純資産額は、26,127百万円となりました。

(自己資本比率)

当第2四半期末における自己資本比率は、29.7%となりました。

(1株当たり純資産額)

当第2四半期末における1株当たり純資産額は、1,770円98銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期における現金及び現金同等物は、7,208百万円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、630百万円の増加となりました。これ税金等調整前四半期純利益2,156百万円に対して、主な増加要因として減価償却費888百万円、及び主な減少要因としてたな卸資産の増加による支出1,024百万円、仕入債務の減少1,201百万円があったこと等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、10,681百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の取得に伴う支出2,112百万円、連結の範囲の変更を伴う株式の取得による支出7,658百万円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、11,281百万円の増加となりました。これは主に長期借入金による収入12,310百万円があったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月期通期の業績予想につきましては、現時点では「平成21年8月期 第1四半期決算短信」(平成21年1月14日付)において公表いたしました予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規連結：寺島薬局株式会社

当社の連結子会社であるウエルシア関東株式会社が、平成20年11月11日付で寺島薬局株式会社の株式を公開買付けにて取得したことに伴い、新たに当社の連結子会社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、当期首以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められるので、当期首において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

当社は、平成20年9月1日にウエルシア関東株式会社と株式会社高田薬局が経営統合し、株式移転により共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、当該事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

		当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		8,150
売掛金		2,923
商品		22,537
その他		4,069
貸倒引当金		△2
流動資産合計		37,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）		11,500
土地		4,668
リース資産（純額）		2,978
その他（純額）		1,381
有形固定資産合計		20,529
無形固定資産		
のれん		10,821
その他		723
無形固定資産合計		11,545
投資その他の資産		
差入保証金		11,414
破産更生債権等		77
その他		2,709
貸倒引当金		△77
投資その他の資産合計		14,123
固定資産合計		46,198
資産合計		83,876
負債の部		
流動負債		
買掛金		24,919
短期借入金		7,812
未払金		1,981
未払法人税等		1,863
賞与引当金		369
ポイント引当金		1,265
その他		2,746
流動負債合計		40,958
固定負債		
社債		855
長期借入金		12,561

(単位：百万円)

当第2四半期
連結会計期間末
(平成21年2月28日)

退職給付引当金	357
役員退職慰労引当金	561
その他	2,454
固定負債合計	16,790
負債合計	57,748
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000
資本剰余金	14,271
利益剰余金	9,645
自己株式	△32
株主資本合計	24,884
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△2
評価・換算差額等合計	△2
少数株主持分	1,244
純資産合計	26,127
負債純資産合計	83,876

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)
売上高	88,691
売上原価	62,847
売上総利益	25,843
販売費及び一般管理費	23,086
営業利益	2,757
営業外収益	
受取利息及び配当金	68
協賛金収入	122
その他	210
営業外収益合計	400
営業外費用	
支払利息	116
その他	51
営業外費用合計	167
経常利益	2,990
特別利益	
固定資産売却益	12
貸倒引当金戻入額	4
その他	2
特別利益合計	19
特別損失	
店舗閉鎖損失	31
固定資産除却損	12
投資有価証券売却損	32
投資有価証券評価損	93
減損損失	381
たな卸資産評価損	298
その他	3
特別損失合計	853
税金等調整前四半期純利益	2,156
法人税、住民税及び事業税	1,569
法人税等調整額	△452
法人税等合計	1,117
少数株主損失(△)	△15
四半期純利益	1,055

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,156
減価償却費	888
減損損失	381
のれん償却額	510
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	121
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	31
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	118
受取利息及び受取配当金	△68
支払利息	116
売上債権の増減額 (△は増加)	△59
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,024
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,201
投資有価証券売却損益 (△は益)	32
投資有価証券評価損益 (△は益)	93
固定資産売却損益 (△は益)	△12
固定資産除却損	12
固定資産受贈益	△42
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3
その他	△314
小計	1,760
利息及び配当金の受取額	62
利息の支払額	△115
法人税等の支払額	△1,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	630
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,112
無形固定資産の取得による支出	△53
敷金の差入による支出	△879
敷金の回収による収入	127
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,658
その他	△105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,681

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年9月1日
至 平成21年2月28日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	858
長期借入れによる収入	12,310
長期借入金の返済による支出	△1,487
社債の償還による支出	△81
配当金の支払額	△172
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△145
自己株式の取得による支出	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,281
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,230
現金及び現金同等物の期首残高	5,188
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	789
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,208

(4) 継続企業の前提に関する注記

当該事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日）

	資本金 (百万円)	資本剰余金 (百万円)	利益剰余金 (百万円)	自己株式 (百万円)	株主資本合計 (百万円)
前期末残高	3,115	3,964	8,762	△31	15,810
当第2四半期末までの変動額					
株式移転による変動額	△2,115	10,306		0	8,192
剰余金の配当			△172		△172
四半期純利益			1,055		1,055
自己株式の取得				△1	△1
当第2四半期末までの変動額合計	△2,115	10,306	883	△0	9,074
当第2四半期末残高	1,000	14,271	9,645	△32	24,884

(注) 当社は、平成20年9月1日付でウエルシア関東株式会社と株式会社高田薬局の共同株式移転として設立しております。

なお、当第2四半期連結財務諸表は、完全子会社となったウエルシア関東株式会社の財務諸表を引き継ぎ、期首に設立したものとみなして作成しております。

「参考資料」

(重要な後発事象)

当社の連結子会社であります寺島薬局株式会社は、平成21年1月21日に元取締役田口武氏及び元取締役岩崎卓二氏より、又、平成21年3月11日に元監査役高橋昌彦氏より任期满了までの未経過分の役員報酬及び賞与、減額分の役員報酬及び賞与をそれぞれに相当する金額について損害賠償請求等の訴訟を提起されております。各人の請求金額は、51,423千円、64,074千円及び81,076千円であります。これは、同社が同3名を解任したこと一因するものであります。

当社は、損害賠償等が発生する可能性はないと判断しておりますが、訴訟の結果によっては、業績に影響を及ぼす可能性があります。